

【中学生の部】花巻市長賞・岩手県納税貯蓄組合連合会会長賞

税金と平等な社会

花巻中学校3年 小菅 琉侏

増税。この言葉を聞いて真っ先に思い浮かべるイメージといえば、マイナスなものでしかありませんでした。というのも、増税といえばシンプルに出費が増えるだけと実感せざるを得ないからです。

例えばレジでのお会計。数年前まで百八円で買えた消しゴムは、今では百十円出さないと買えなくなりました。たった二円、されど二円。チリも積もれば大金になる。お小遣いで買い物をする私にとって増税とはマイナスイメージが強いものだったのです。そもそも税金が何に使われているかなんてよく分からないのに、ただ納めているだけ……。少しの不満と不公平感がありました。

けれど、今の私は「税金は平等な社会を実現するために絶対に必要なものです」と胸を張って皆に伝えられる自信があります。なぜならば、税金は私たちの生活のすぐそばで必要に応じて使われていると実感する出来事があったからです。

それは私が骨折した時の話です。レントゲン撮り、先生の診察を受け、ギブスを作ってくださいました。その時のお会計が七百五十円だったのです。これだけしていただいたのにも関わらず明らかに安く感じるお会計に、その時は「子どもだからかな？」と思った程度でした。しかし今回、税について調べていくうちに医療費も税金で賄われており、私たちの負担が軽減されているということが分かりました。

税金によって賄われる社会保障は、誰でも受けることができます。

増税と聞き、マイナスイメージしか無かったものが、実は私たちの日々の生活の中で、当たり前のように使われていて、病気やケガなど、いざという時には全ての国民の大きな安心となっており、公的医療保険制度があることで、皆が平等に福祉を受けられることにも繋がるということが分かりました。

私たち国民が日常的に納める税金。一人一人の税金が誰かを支え、支えられているということに感謝し、今だからこそ、税を知ることが大切であると思います。

税金は平等な社会を実現するために絶対に必要なものです。増税で納める税金が増えたとしても、その分財源が確保され、より充実した福祉が提供されます。そして平等に受けられる福祉は格差をなくし、国全体の生活を豊かなものにします。

これからも生活していく上で税に助けられることが多々あると思います。日々の生活で使われている税は見過ごしてしまいがちになりますが、当たり前と勘違いせず感謝の気持ちを持って過ごしていきたいです。

国民で助け合い、笑顔で過ごせる社会のために、きちんと納税する大人になりたいです。